



日本木青連 東海地区協議会
第2回理事会

平成30年7月21日(土)

於：十八楼（岐阜市）

【 総 会 次 第 】

- 1、開会の辞（瀨瀬副会長）
- 2、会歌斉唱・綱領唱和（柴田副会長）
- 3、出席者の確認
- 4、配布資料の確認
- 5、会長挨拶
- 6、前回議事録承認
- 7、報告事項
 - ① 日本木青連からの報告事項
 - ② 各県からの報告事項
 - ・愛知
 - ・岐阜
 - ・三重
 - ③ その他
- 8、協議・審議事項
 - ①日本木青連全国大会（愛知大会）について（協議）
 - ②協議会内の災害時の対応について
 - ③その他
- 9、意見交換
- 10、次回開催日について
 - 開催予定日：平成 30年10月13日（土）
 - 開催場所：三重県
- 11、閉会の辞（伊藤副会長）

日本木青連綱領

われわれ木青連は
おなじ世代の木材人として交流を深め
相互の啓発につとめよう
若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう
木材界の発展を通じ
よりよい社会を建設しよう

日本木青連 会歌

一 木を愛し 木と共に

暮らしの基を 育くみて

未来のために 世のために

広く普及えた 木の香り

ああ 我ら 木青連の心意気

二 木を学び 木に求め

あまねく同志と たずさえて

相互の力 結び合い

文化日本を 拓くのは

ああ 我ら 木青連の理想なり

三 木に育ち 豊かさを

伸び行く我ら 若人が

若き叡智と 情熱で

明日の社会を 築くのは

ああ 我ら 木青連の使命なり

東海地区新旧理事会議事録

日時：平成30年4月28日（土）

場所：岐阜市ドリームシアター

1、開会 開会の辞 三重松谷副会長

2、出席者の確認 自己紹介（順不同）

愛知 清水 鈴木 友松 尾形 稲垣 内藤 長尾 長屋 峰野 鈴木 森下 丸山 成田

小杉 柴田 本田 三宅

岐阜 山下 柳瀬 柿下 瀨瀬 松村 森 三島 安藤 桑原 桐山 今井 高瀬 田口 林 井森 梅田

三重 伊藤 松谷 森下 野地 田上 青木 山本 真弓

3、配布資料の確認

4、平成29年度会長挨拶 峰野会長 1年前に東海地区の絆を深めたい強めたいという思いで一年間やらせていただきました。東海地区の会則と総会が皆様のご協力によりでき、ありがとうございました。30年度田口会長を中心に東海地区を盛り上げていってほしい。

5、報告事項

日木からの報告事項（30年度田口会長より）

30年度の日木鈴木会長の活動指針の紹介 他業種から知る学ぶ委員会の創設、委員長は近畿地区宮谷くんがなっている。異業種の視察などが年4回くらい計画されている。知る学ぶ講演会も企画されている。木育推進委員会は東海から安藤委員長が出向しているのので、盛り上げてほしい。木材活用委員会第4部門が新設、年々応募件数が減少傾向にあるのでPRをお願いしたい。ウッドトランスホームシステムのアイデアの募集コンペディション参加のお願い。

木質カレンダーは東海地区が担当なので皆様お願いします。岡山県が会員を増やしている。親睦事業を廃止し事業に繋がる取り組みに変更した結果会員が増えた。

・岐阜県から（瀨瀬会長より）4月21日に県の総会、会員大会が盛大に開催された。

- ・愛知県から（柴田会長より）3月24日新旧理事会、翌日25日大阪にてウッドトランスホームの組み立て体験会に参加 今後の予定5月19日愛知総会の開催
- ・三重県から（伊藤会長より）新しい取り組みとして7月に三重県の総会を岐阜県にて開催予定
- ・全国大会実行委員会より（友松委員長より）第64回全国愛知大会の開催。来年6月21日前夜祭22日式典大懇親会の開催予定 協賛金を三重、岐阜にもお願いをしたい。PRビデオがほぼ完成した。

6、協議事項

第1号議案 平成29年度東海地区協議会事業報告並びに収支決算の承認について
(監査報告)承認

第2号議案 東海地区協議会規約承認について承認

第3号議案 平成30年度 東海地区協議会役員を選任の承認について承認

第4号議案 平成30年度 東海地区協議会事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について 承認

第5号議案 第42回 日本木青連東海地区協議会会員大会について承認

第6号議案 平成30年度 会費等の賦課徴収方法について承認

意見交換会

東海地区会員大会の予算計上を清水さんより指摘 会員の方にわかりやすく明細を。
安藤さんより東海大会予備費0は少し心配という指摘 80人以上来て頂ければ予備費が出てくる計算をしているので多くの方に参加してほしい（梅田）。清水さんより日木役員に声かけをしたいと思います、収入が上がっていないと指摘 去年は日木の理事会と東海大会が同日のため多くの常任の方に参加
頂きましたが、今回は理事会がないのと、全国の会員大会が愛知という事から全国大会実行委員の出席が見込めないため計上していない（梅田）。東海地区から常任理事に招待状を。野地さんより全国大会に向けどのように親睦団結をはかるのか。懇親にてアトラクション等で親睦を深めたいが、まだ具体的内容が決まっていないので、お楽しみを（瀧瀬）。式典の中で各県の取り組み報告などを入れて団結をはかりたい。（田口）田上さんより80名切った場合どうされるのか コンパニオンを減らすなど対応したい（梅田）鈴木さんより親睦第一で良いのか・テレビ局の方の講演会で会員に何を伝えたいのか内容をしっかりして欲しい。今までの流れを大きく変えることもできないですが、そのような意見があれば変えられる部分があれば変えて行きたい。講演会について

ではあらためてお知らせするのでしっかり講師の方と打ち合わせをし会員の方の為になる講演会にしたい（田口）鈴木さんよりどうしてこの講師を選択されたのか目的意識をしっかり持って打ち合わせをお願いしたい。木材業界は発信が下手くそという問題意識があるのでどうやって発信していくのかといった内容を中心に会員の皆様のためになるような講演会にしたい（田口）稲垣さんより昨年は長屋専務から直接メールでありましたが、今回は会団からメールが届くのでタイムラグが発生するので直接出来ないか。すぐには出来ないですが今後検討したい。（梅田）

7、平成 30 年度会長挨拶

田口会長より 平成 30 年度皆様どうぞよろしくお願ひ致します。まずは、東海地区第 1 回の定時総会を開催するにあたり色々と不備があり申し訳ありませんでした。次回に今日の反省点を活かして行きたい。活動の中心がどこ目線でやっていくか、一人一人の会員様の社業が発展することが 1 番だと考えています。組織としてやって行かなければ、いけないことはやっていくのですが、皆様一人一人の意見を大切にしていきたい。普段会社で困っていることや、こんなことやっていこうよなど意見を言ってもらい、皆で解決していきたい。そういった東海の運営をおこなって行きたい。愛知全国大会を控えているのでパワフルな 1 年にしていきたい。

8、次回開催日について

第 2 回理事会 東海大会 平成 30 年 7 月 21 日（土） 場所：十八楼（岐阜）

9、閉会の辞 愛知尾形副会長

報告書

会議開催日：2018年7月21日

会団	日本木材青壮年団体連合会 東海地区協議会
氏名	田口房国

項目	報告・連絡事項
	<p>年4回林野庁が木材需給会議を開いており、委員として日本木青連鈴木会長が出席しています。以下、鈴木会長からの連絡を引用します。</p> <p>http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/jyukyuu/180702.html</p> <p>※配布資料の中の「資料の概要」をお読みいただくと全体像つかめるかと思えます。木青連会長としては「木材業界の動向」ということで、資料4を提出させて頂いております。(資料の概要での項目も4番となります)</p> <p>この内容を私の主観情報とともに発表させて頂きましたが、今後は可能な限り、会の代表として集約した内容で発表したく思います。</p> <p>地区長の皆様</p> <p>下記2点ご協力よろしく願いいたします。</p> <p>①各地区の状況の取り纏め情報 ②林野庁や木材業界への要望</p> <p>【期限】9/14(金)</p>

第1号議案

会議開催日：2018年7月21日

協議	審議	報告
○		

会長	
田口	

会団	日本木材青壮年団体連合会 東海地区協議会
上程者名	田口房国

議案名	第64回全国会員愛知大会 協力金について
主旨	2019年に開催される第65回全国会員愛知大会について、東海地区協議会は副主管となっております。協議会として本大会を物心両面で支援していくことが求められている中で、協力金の拠出について協議する。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東海地区協議会として拠出の有無とその金額 ・各県（岐阜、三重）としての拠出の有無とその金額

承認		条件付承認		非承認	
----	--	-------	--	-----	--

第2号議案

会議開催日：2018年7月21日

協議	審議	報告
○		

会長	
田口	

会団	日本木材青壮年団体連合会 東海地区協議会
上程者名	田口房国

議案名	協議会内における災害時の対応について
主旨	災害時の対応を協議会としてどのようにすべきか協議する。
概要	日本木青連としては災害発生時対応に関する規定細則を設け、情報収集活動、風評被害等に関する是正活動、復興支援活動などを行っていく方向である。その中で地区協議会が果たす役割もあるが、それとは別に地区協議会として独自の活動をするべきかどうか。また、するのであればどのような活動となることが良いか。

承認		条件付承認		非承認	
----	--	-------	--	-----	--